

**第5次朝霞市行政改革実施計画
進捗状況報告
(令和元年度実績)**

**令和2年8月
朝霞市**

目 次

第5次朝霞市行政改革実施計画の進捗状況総括表	1
進捗確認シートの記載内容について	2
取組番号1 参加と協働によるまちづくり	4
取組番号2 行政評価制度の効果的・効率的な運用	6
取組番号3 行政サービスのオープン化	8
取組番号4 審議会等の見直し	10
取組番号5 戦略的な情報発信	12
取組番号6 自主財源の確保	14
取組番号7 ファシリティ・マネジメントの推進	16
取組番号8 市単独の支援制度の見直し取組番号	18
取組番号9 組織機構の見直しと定員の適正化	20
取組番号10 職員の資質向上	22
【別紙】第5朝霞市行政改革実施計画 見直しシート	24
朝霞市行政改革懇談会開催状況	26
朝霞市行政改革懇談会委員名簿	26

第5次朝霞市行政改革実施計画の進捗状況総括表

柱	番号	取組項目	取組の視点	取組の内容	進捗
(1) 効率的で効果的な行政運営と市民参加	1	参加と協働によるまちづくり	市民参画を推進するために設けている制度がより有効に機能するよう改善に取り組む。また、自治基本条例等の制定について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 市民参画の推進に係る制度の改善 市民参画を推進する条例等の検討 協働の推進と深化 	80.00%
	2	行政評価制度の効果的・効率的な運用	事務事業評価、施策評価などの行政評価をより効果的、効率的に実施できるよう、行政評価手法の見直しを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 内部評価制度の改善 外部評価制度の改善 	80.00%
	3	行政サービスのオープン化	民間委託や指定管理等のアウトソーシングによる事務事業の効率化について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> アウトソーシング等に関する研究 指定管理者制度の活用 	80.00%
	4	審議会等の見直し	審議会等の附属機関について、より効果的な運営方法について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 審議会等の附属機関の在り方検討 効果的な運営方法の検討 	83.00%
	5	戦略的な情報発信	市制50周年や2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、これを契機とした戦略的な市の魅力の発信方法について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> SNSや動画サイトなどの効果的な活用の推進 市の魅力の発信方法の検討 	86.00%
(2) 安定した財政運営と財産の活用	6	自主財源の確保	安定的な財政運営を目指し、様々な角度から、財源確保策について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 市税等収納方法の多様化の検討 使用料・手数料の適正化の検討 ふるさと納税の活性化 新たな収入確保の検討 減免規定の基本的な考え方の検討 	92.00%
	7	ファシリティ・マネジメントの推進	第4次行政改革の「ファシリティ・マネジメントの導入」の取組の中で策定した「公共施設等総合管理計画」を踏まえて、今後50年間を見据えた成果の達成に向けた仕組みづくりとその運用を開始する。	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設修繕及び長寿命化計画の策定 公共施設の安全・良質な状態の保持～ライフサイクルコストの軽減と財政負担の平準化～ 公共資産の有効活用 	81.30%
	8	市単独の支援制度の見直し	他市の状況調査などを通して、市単独の支援制度の必要性や適正水準の見直しについて検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 市単独の支援制度の見直し 	80.00%
(3) 機能的な組織運営と人材育成	9	組織機構の見直しと定員の適正化	国の施策や変化する社会状況に対応するため、職員定数、組織機構の適正状況について検証、見直しを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 組織機構の見直し 定員の適正化 	86.00%
	10	職員の資質向上	研修を通じた職員の能力開発に加え、職員が現状課題の改善に向けて意欲的に発言、提案できる仕組みの整備に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の充実 職員提案制度の改善 	90.00%

進捗確認シートの記載内容について

■ 各取組項目の詳細

実施計画に記載されている以下の内容を転記しています。

- ・取組番号、取組名称、担当課、取組内容、効果、数値目標等
- ・各実施項目の名称、各実施項目のウェイト、各実施計画の実施スケジュール

■ 各実施項目の各年度における計画・目標進捗率

実施スケジュールを踏まえて、新たに百分率で記載しています。

■ 各実施項目の実施内容

令和元年度に実施した内容について記述しています。

■ 各実施項目の進捗

計画期間全体に対する進捗率を百分率で記入し、進捗状況を記号で評価しています。

☆完了、○順調、△遅れ、－未実施、×中止等

■ 総括

目標の達成状況、課題、今後の方針について記述しています。

数値指標等も分かる範囲で記載しています。

■ 進捗率

各実施項目のウェイト、進捗から算出された進捗率を百分率で記載しています。

例：実施項目数がN項目ある取組項目の進捗率

$$\begin{aligned} \text{進捗率} = & \{ \text{実施項目 1 のウェイト} * \text{実施項目 1 の進捗} \\ & + \text{実施項目 2 のウェイト} * \text{実施項目 2 の進捗} \\ & \dots \dots \dots \\ & + \text{実施項目 N のウェイト} * \text{実施項目 N の進捗} \} / 100 \end{aligned}$$

■ 次年度以降の計画の見直し

既存の計画内容の見直しの有無について記載しています。

見直しが有る場合は別紙「実施計画の見直しシート」に見直し内容を記述しています。

■ 懇談会からの御意見等【懇談会後に記載】

懇談会からの御意見、コメント、指摘事項等について記載します。

■ 御意見等への対応【懇談会後に記載】

御意見等に対する担当課の対応について記載します。

■ 別紙「実施計画の見直しシート」【見直しがある取組項目は作成】

既存の計画から見直す内容について記述しています。見直しの内容が明らかになるよう、見直した部分を下線や色付けで強調しています。

第5次朝霞市行政改革 実施計画 進捗確認シート

【令和元年度実績】

取組番号	1	取組名称	参加と協働によるまちづくり
担当課	政策企画課、地域づくり支援課、市政情報課		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民参画の推進に係る制度の改善 市民参画を推進するために設けている制度が、既存のものも新しいものも含めて、より有効に機能するよう改善と拡充に取り組む。 市民参画を推進する条例等の検討 市民参画の推進に係る講座等の開催を通し、市政への市民参画の機運を醸成するとともに、自治基本条例等、市民参画を推進する条例の制定について検討する。 協働の推進と深化 市民と行政がそれぞれ自らの果たすべき役割と責任を自覚し、より効率的・効果的に事業を推進していくことを目的として、協働について職員への啓発に取り組むとともに、協働をさらに深化させるための仕組みづくりについて検討する。 		
効果	<ul style="list-style-type: none"> 市政に参加しやすい環境が整い、市民の意見や要望が市政に反映される。 市民と行政との協働により、事業が効率的・効果的に行われる。 		
数値目標等	<ul style="list-style-type: none"> 市民の意見や要望が市政に反映されている割合(市民意識調査) R2年度:34.0%(H25年度:26.4%、H22年度:33.2%) NPOやボランティア等との協働事業数 R2年度:80事業(H30年度:73事業、H29年度:68事業、H28年度:65事業、H27年度:65事業) 		

実施項目	ウェイト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度実績		
		計画・目標進捗率					実施内容	進捗	
制度の改善・拡充	20						市政モニター制度を活用する意義について庁内での周知に努めたところ、各課からのアンケート実施希望が増加したため、アンケート調査の実施回数を増やした(H30:年5回、R1:年6回)。	80%	
		調査・研究・改善(随時)							
		20%	40%	60%	80%	100%			制度が毎年着実に活用されている。
市民参画の機運醸成	20						「地域を元気にする仲間づくりとまちづくり」(全6回)を開催し、市民活動に参加してみたい方や、既に活動をしている方に、活動において大切な視点・方法について学んでいただくことで、「あさか」のコミュニティを盛り上げ「あさか」をもっと魅力的なまちにするための提案・プランを考えていただいた。参加者にとって地域に根ざした市民活動に参加するきっかけづくりができた。	100%	
		講座	講座	講座・講演会・懇談会					
		30%	60%	100%	100%	100%			完了している。
条例制定の検討	40						条例制定の検討に資する取組としては、連続講座「地域を元気にする仲間づくりとまちづくり」や、総合計画後期基本計画の策定に係る分野別市民懇談会を開催した。	70%	
		検討・体制構築							
		20%	40%	60%	80%	100%			検討に遅れがある。
協働の深化	20						市民活動団体支援補助金制度を改正。令和2年度の補助金(事業補助)活用事業から、団体の他、市民や職員も参加できる事業報告会(活動発表)を実施して、さらなる市民活動の周知、協働事業に繋がる契機とする。	80%	
		調査	検討・仕組みづくり	周知・推進					
		20%	40%	60%	80%	100%			順調に進捗している。

総括 (進捗状況・課題・今後の方針等)	引き続き条例制定について検討を進めていく一方、実質的な市民参画と協働の取組を充実させていく。	進捗率	
	連続講座の参加者からは、地域の結びつきや市民が主体的に活動することの重要性について評価する意見や、今後も継続した開催を望む声が多くあり、市民参画の機運醸成の重要性について認識した。		80.0%
	市では、令和元年度から第5次総合計画後期基本計画の策定に向けた取組を開始しているが、この検討の過程において、分野別懇談会や意見交換会等の市民参画の機会の充実にも今後継続して取り組んでいく。		次年度以降の計画の見直し
	【数値指標等】 ・要望が市政に反映されている割合 R1年度:30.2% ・NPOやボランティア等との協働事業数 R1年度:73事業		なし

【懇談会からの御意見等と対応】

【懇談会】

実施した分野別市民懇談会や市民意見交換会について、より市民の意見を聴くために工夫した取組は行っているのか。

【市】

市民参加を促す試みについては、SNSやホームページ以外に、小中学生向けの若い世代からの意見を集約する目的で、ユーチューブに動画を掲載し、アンケートにより意見の募集を行っている。

【懇談会】

市民参画を推進するための制度について、主な取組はあるか。
また、市民参画の推進における条例制定については、いつから議論を行っているのか。

【市】

市民意見懇談会やパブリック・コメントなどの取組を行っている。
また、第4次朝霞市行政改革から、市民参画の推進における条例制定の議論を行っている。

【懇談会】

条例を制定するのであれば、委員も増やした上で、条例制定に向けた取組が必要となってくるのではないかと。

【市】

現在、総合計画後期基本計画を策定中であり、条例の検討についても後期基本計画の中に位置付けて、引き続き検討したい。

【懇談会】

市民意識調査のアンケートについて、回収率は36%、そのうち30%が回答しており、進捗率が80%というのは、評価が甘いのではないかと。

【市】

進捗率80%は参加と協働によるまちづくり全般としての評価である。
今後も引き続き、多くの市民の皆様の声が拾える手法等について調査研究していきたい。

【懇談会】

条例制定について、これまでの経過や方向性などについて、外部からも明確に見えるような資料を作成してほしい。

【市】

これまでも行政改革の実施項目としての進捗に加えて、行政評価の結果として公表をしている。
今後は、検討結果や方向性など、節目節目でお知らせすることを考えている。

第5次朝霞市行政改革 実施計画 進捗確認シート

【令和元年度実績】

取組番号	2	取組名称	行政評価制度の効果的・効率的な運用
担当課	政策企画課		
取組内容	行政評価制度は、職員自ら分野別に振り返る「内部評価」と、コンセプトごとに確認する「外部評価」から形成されている。具体的には内部評価として事務事業評価と施策評価を行うとともに、第三者機関による外部評価を行い、PDCAサイクルにより、施策や事務事業の充実を図る。 ・内部評価制度の改善 外部評価委員会の意見や提言について反映させる仕組みを整備していく。 ・外部評価制度の改善 外部評価の効果的かつ効率的な実施方法について検討する。		
効果	内部評価制度の改善を行いながら、第三者機関による外部評価を実施し、施策や事務事業の成果が検証されることで、PDCAサイクルが最大限に機能し総合計画の進行管理に反映される。		
数値目標等	・市民満足度アンケート※において3.50点以上を示した項目の割合 R2年度:50% (H30年度:11.8% = 4/34項目、H29年度:14.7% = 5/34項目、H28年度:11.8% = 4/34項目、H27年度:35.3% = 12/34項目) ※第5次朝霞市総合計画では、「安全・安心なまち」、「子育てがしやすいまち」、「つながりのある元気なまち」、「自然・環境に恵まれたまち」を4つの基本概念(コンセプト)に掲げ、施策に取り組んでおり、市民の皆さんの暮らしの中でこれらの4つのコンセプトが実感できているか、「5満足」、「4やや満足」、「3どちらでもない」、「2やや不満」、「1不満」の5段階で、市政モニターに行った全34問のアンケート結果。		

実施項目	ウェイト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度実績	
		計画・目標進捗率					実施内容	進捗
内部評価制度の改善	40	→ 実施					平成28年度から開始となった第5次総合計画の施策を横断する4つの基本概念(コンセプト)や、政策立案の際の3つの留意点を念頭において実施した政策について、年度末に施策、事務事業の各評価シートにおいて評価を実施した。	80%
		20%	40%	60%	80%	100%		
外部評価制度の改善方法の検討	30	→ 検討					平成30年度の実施状況を踏まえ、外部評価委員会での検証の効果や効率性をあげるため、令和元年度から以下のとおり改善することとした。 ・委員の方から事前質問を提出いただくと同時に、担当課に資料の請求をできるようにし、その資料を議論する際に活用する。 ・会議中の各委員の発言を速記し、スクリーンへ投影することで、所見を取り纏める際の委員の理解度を深めた。	80%
		20%	40%	60%	80%	100%		
外部評価制度の改善	30	→ 実施					4つの基本概念(コンセプト)単位で作成していた外部評価シートを、さらに詳細な重視すべき事項単位で作成したことにより、より詳細な資料をもとに実施することができた。 評価単位を4つのコンセプトだけではなく、市民参画・協働、行財政についても対象としたことにより、情報発信や参画の機会、行財政運営の方向性など、市政全般に関わる施策や取組についても評価を実施することができた。	80%
		20%	40%	60%	80%	100%		

総括 (進捗状況・課題・今後の方針等)	外部評価委員会は、平成28年度より、第5次総合計画の施策について、4つの基本概念(コンセプト)に基づき評価している。令和元年度は、委員の方から事前質問を提出いただくと同時に、担当課に資料の請求をできるようにし、その資料を議論する際に活用することができた。 また、委員からの要請を受け、担当課の職員を招くことにより、委員からの疑問や担当課の考え方をその場で聞くことができ、活発な議論を行うことができた。 今後もより効果的な評価方法を検討していくほか、評価結果(所見や提言等)を踏まえた施策展開が行われるよう定期的に確認作業を行っていく。	進捗率
	【数値指標等】	80.0%
	・市民満足度アンケートにおいて3.50点以上を示した項目の割合 R1年度実績:14.7% = 5/34項目	次年度以降の計画の見直し
		なし

【懇談会からの御意見等と対応】

【懇談会】

まち・ひと・しごと総合戦略は、第5次朝霞市総合計画と相互に関連付いているが、その他の個別の計画の評価について、どう考えているのか。

【市】

まち・ひと・しごと総合戦略は、第5次朝霞市総合計画から重点的に取組内容を取り入れていることから、現在はそれぞれの計画において評価を行っているが、評価方法について検討していきたい。

【懇談会】

行政評価を行い、見直した結果をどう反映しているのか。

【市】

評価結果を踏まえて、次年度の事業の組み立てに生かしている。

【懇談会】

内部評価は、組織全体で行っているのか、所管課のみで行っているのか。

【市】

市の内部評価については、所管部課のみの自己評価である。

【懇談会】

上司、部下や同僚による職員同士の評価は行っているのか。相互評価の仕組みも取り入れると良いのではないか。

【市】

所管部課のみの評価であるため、評価方法の改善については、今後検討していきたい。

第5次朝霞市行政改革 実施計画 進捗確認シート

【令和元年度実績】

取組番号	3	取組名称	行政サービスのオープン化
担当課	政策企画課		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトソーシング等に関する研究 質の高い行政サービスを効果的かつ効率的に提供するために、アウトソーシング等に関する調査、研究しつつ、可能な事業についてアウトソーシングを実施していく。 ・指定管理者制度の活用 公の施設は、本市による直営あるいは指定管理者制度による管理運営を行うことと定められている。どちらの管理運営手法が、市民サービスを向上させ、より効果的かつ効率的に施設の設置目的を達成できるかを判断基準に、指定管理者制度の活用を検討する。また、より効果的な指定管理者の選定を行うために、社会情勢の変化に対応させて「公の施設の指定管理者制度に関する基本指針」を改訂する。 		
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトソーシング等の取組を推進することにより、行政運営の効率化が図られる。 ・それぞれの公の施設が、適切な管理運営形態により、効果的かつ効率的にサービスを提供できるようになる。 		
数値目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトソーシング等の推進による行政運営の効率化 ・公の施設の利用者への効果的かつ効率的なサービスの提供 指定管理導入施設のうち指定管理業務総括評価票※における総合評価「A」の施設数 R2年度:60/全60施設(H30年度:59/全59施設、H29年度:58/全59施設、H28年度:57/全59施設、H27年度:57/全58施設、H26年度:57/全58施設)※毎年度実施するモニタリングの総括評価票		

実施項目	ウェイト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度実績	
		計画・目標進捗率					実施内容	進捗
アウトソーシング等に関する調査、研究	20	調査・研究					平成30年8月朝霞市・和光市ごみ広域処理に関する基本合意書を締結し、ごみ処理広域化基本構想の策定や事業主体設立に向けた協議を行った。	80%
		20%	40%	60%	80%	100%	順調に進捗している。	○順調
		→						
アウトソーシング事業の実施	20	実施					平成29年9月から民間委託を開始している第四小学校給食調理等業務委託を引き続き実施した。 令和元年度から駅前3カ所の市営駐車場について、駐車設備の更新、メンテナンス等を含めた駐車場管理業務を5年間の長期継続契約による委託を開始した。	80%
		20%	40%	60%	80%	100%	順調に進捗している。	○順調
		→						
指定管理者制度の活用の検討	30	活用の検討					令和元年10月開館のほんちよう児童館について、選定委員会において指定管理者による管理運営を決定した。	80%
		20%	40%	60%	80%	100%	順調に進捗している。	○順調
		→						
「公の施設の指定管理者制度に関する基本指針」の改訂	30	見直し・改訂					令和元年度は基本方針を全般的に見直したものの、特に改訂を要する点はなかった。	80%
		20%	40%	60%	80%	100%	順調に進捗している。	○順調
		→						

総括 (進捗状況・課題・今後の方針等)	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトソーシング等に関する研究 現時点では具体的な計画は上がってない。アウトソーシング可能な業務について引き続き検討する。 ・指定管理者制度の活用 指定管理者制度を導入しているすべての施設について、モニタリングの総括評価票における総合評価がAとなるよう、安定したサービスを提供する。 【数値指標等】	進捗率
	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理導入施設のうち指定管理業務総括評価票における総合評価「A」の施設数 R1年度:57施設/全60施設(3施設についてB評価)	80.0%
		次年度以降の計画の見直し
		なし

【懇談会からの御意見等と対応】

【懇談会】

新たに開館したほんちよう児童館について、設備が充実しており、職員の質も高いことから、アウトソーシングがうまくいった例として、もっとアピールしてもいいのではないかと。

また、アウトソーシング先で独自の判断を行ってしまうことがあることから、市のチェック体制はどこまで行っているのか。

【市】

大変ありがたい話であり、行政として自己評価を厳しめに行っている部分もあることから、良い部分についても市民に情報を発信していきたい。チェック体制については、各所管課で定期的に連絡会等を開催しつつ、モニタリングを行なっている。

【懇談会】

朝霞市・和光市ごみ広域処理について、所管課だけでなく、政策企画課と今後のスケジュール等を共有するなど、連携して事業を進めているのか。

【市】

朝霞市・和光市ごみ広域処理については、令和2年10月に一部事務組合を設立予定であり、今後10年間を目途に新炉開設に向けた作業を進めていく。

また、今後も引き続き、所管課と政策企画課で情報共有を行うなど連携を図っていく。

【懇談会】

アウトソーシングについて、市は推進する立場であるが、受手側である社会福祉協議会は、地域福祉の向上が責務があるのに、管理事業が多くなっていることから、今後検討していく必要がある。

【市】

各施設において効果的かつ効率的にサービスを提供できるよう、適切な管理運営や指定管理者の選定を行う際には、受け手側の特性を活かせるよう検討していきたい。

【懇談会】

アウトソーシングの良い部分は取り入れていく必要がある。

【市】

引き続きアウトソーシング等に関する調査及び研究を進め、可能な事業については取り入れていきたいと考えている。

第5次朝霞市行政改革 実施計画 進捗確認シート

【令和元年度実績】

取組番号	4	取組名称	審議会等の見直し
担当課	政策企画課		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会等(地方自治法第138条の4第3項に規定)の在り方検討 できるだけ多くの市民の声を市政に反映させるために導入した審議会等における公募委員候補者登録制度の改善を含め、委員に占める公募委員の割合など、審議会等の在り方について検討する。また、性質の似た附属機関が重複して設置されないよう、審議会等の在り方を見直す。 ・効果的な運営方法の検討 既存の審議会等について、学識者の知見が最大限に活用できる仕組みづくり等、より効果的な運営方法について検討する。 		
効果	幅広い市民の意見を市政に反映させることで、パートナーシップによるまちづくりの推進が図られるとともに、審議会等の活性化により、公正で透明な市政運営を実現することができる。		
数値目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会等(地方自治法第138条の4第3項に規定)における公募委員の占める割合 R2年度:20.0%(H30年度:11.30% = 73/全646人、H29年度:10.36% = 75/全724人、H28年度:9.17% = 64/全698人、H27年度:10.5% = 80/全762人) ・公募委員を含む審議会等(地方自治法第138条の4第3項に規定)の割合 R2年度:50.0%(H30年度:42.86% = 30/全70機関、H29年度:40.8% = 29/全71機関、H28年度:40.0% = 28/全70機関、H27年度:44.3% = 31/全70機関) 		

実施項目	ウェイト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度実績			
		計画・目標進捗率					実施内容	進捗		
公募委員候補者登録制度の改善	30						令和元年度から、世代間で送付数を調整し若い世代の登録を増やすようにするとともに、2年に1度だった名簿への登録依頼(2,000通)を、毎年1,000通依頼するよう改善し、それに基づく運用を行った。 【公募委員候補者の名簿登録状況】 H28年度:105人 H30年度:113人 R1年度:47人 R2年度:53人	80%		
		20%	40%	60%	80%	100%			順調に進捗している。	○順調
		実態調査・検討		運用						
審議会等(地方自治法第138条の4第3項に規定)の在り方検討	30						審議会等における委員のうち、公募委員が占める割合や、女性が占める割合、統廃合の余地などについて、庁内に照会し、各審議会における改善を促した。	90%		
		30%	50%	70%	90%	100%			引き続き、庁内における実態調査を継続する。	○順調
		調査・研究		検討・実施						
効果的な運営方法の検討	40						各課において、新規委員への事前説明会の実施のほか、会長と事務局による事前打ち合わせの徹底や会議の場以外でも書面により質問や意見を求めるなどの取組みを行った。	80%		
		20%	40%	60%	80%	100%			順調に進捗している。	○順調
		調査・研究		検討・実施						

総括 (進捗状況・課題・今後の方針等)	公募委員候補者登録制度について、若い候補者の登録を増やし利用を促進するための改善を行い、令和2年度からの名簿を作成している。また、平成29年度に実施した庁内70の附属機関についての実態を把握するための調査結果を踏まえ、課題解消に向けて具体的に取組み、市民の声が広く反映されるまちづくりの実現を目指している。 【数値指標等の進捗】	進捗率
	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会等(地方自治法第138条の4第3項に規定)における公募委員の占める割合 R1年度:11.58% = 80/全691人 	83.0%
	<ul style="list-style-type: none"> ・公募委員を含む審議会等(地方自治法第138条の4第3項に規定)の割合 R1年度:48.53%=33/全68機関 	次年度以降の計画の見直し
		なし

【懇談会からの御意見等と対応】

【懇談会】

審議会等における女性の割合について、数値化しているのか。
また、数値化したものがあれば、数値目標の欄に記載してはどうか。

【市】

審議会等における女性の割合については、現時点で28.5%であり、今後記載する方向で検討したい。

【懇談会】

効果的な運営方法の検討について、会議資料や会議のICT化を進めていいのではないか。
例えば、資料のPDF化や会議自体に大型ディスプレイの導入をすることなど、検討してもらいたい。

【市】

新型コロナウイルスの影響等も踏まえて、行える取組については、積極的に取り入れていきたい。

【懇談会】

前回の審議会で、市の審議会は数が多く、資料が膨大であることを意見したが、その後改善に向けて進展があったか。
また、市民公募の登録について、専門性の高い公募委員に参加してもらうために、取り組んでいることはあるか。

【市】

会議の統廃合については前年度に大きな変化はなかったが、例えば、総合計画後期基本計画については、今年度末で策定が終わり、次年度以降は進行管理となるなど、効率化できるよう検討していきたい。

また、市民公募の登録において、興味のある分野を登録してもらっており、専門性は高くなっている。

第5次朝霞市行政改革 実施計画 進捗確認シート

【令和元年度実績】

取組番号	5	取組名称	戦略的な情報発信
担当課	シティ・プロモーション課		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSや動画サイトなどの効果的な活用の推進 情報拡散手段として活用されているSNS(ソーシャル ネットワーキング サービス)等のそれぞれの特徴を生かした、より効果的な情報発信の方法を検討する。 ・市の魅力の発信方法の検討 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、これらを契機とした戦略的な市の魅力の発信方法について検討する。 		
効果	朝霞市の魅力を広くPRするシティ・プロモーションを展開することで、市民の市政への関心や理解が深まる。また、県内外における朝霞市の認知度の向上も図られる。		
数値目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・広報戦略に関する方針の策定 R2年度:完了 ・市外へのPR事業の実施件数 R2年度:2件(H30年度:19件、H29年度:13件、H27年度:未整備) ・PRロゴ使用申請受理件数 R2年度:25件(H30年度:47件、H29年度:14件、H27年度:検討・実施) ・キャラクターイラスト使用申請受理件数 R2年度:45件(H30年度:127件、H29年度:33件、H27年度:未実施) 		

実施項目	ウェイト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度実績		
		計画・目標進捗率					実施内容	進捗	
全庁的なSNSの導入	30	調査・研究		実施			平成30年度に選定した4課において、各課の新たなページを作成し、継続的に情報発信を実施。令和2年3月にヤフー(株)と災害時に係る情報発信等に関する協定を締結し、アプリを使用して情報発信する手段が増えた。今後も新規で導入できる分野や、現在導入しているSNS以外でも情報発信で有効的なものがないかを引き続き模索していく。	95%	
		20%	40%	60%	80%	100%			順調に進捗している。
									○順調
広報戦略に関する方針の策定	30	調査・研究				策定		既存のプロモーション戦略に関する方針「朝霞市シティ・プロモーション取組基本方針」から、新たなプロモーションの方針を策定するため、令和元年10月に「シティ・セールス朝霞ブランド検討委員会」を開催するなど、方針の内容について検討を進めた。	85%
		50%	50%	70%	85%	100%	順調に進捗している。		
市外へのPR事業の実施	20	検討・実施					市ブランドタグライン「むさしのフロントあさか」等を活用しながら、「J:COM「長つと散歩」」に市長が出演しシェアサイクルで黒目川や旧高橋家住宅などを巡り7つのシティ・セールス朝霞ブランドをPRしたほか、観光要素を盛り込んだスポーツイベント「ロゲイニング」を実施し、市外からの参加者へも朝霞市の魅力をPRした。 また、LINEによる配信により市の魅力を発信した。	80%	
		20%	40%	60%	80%	100%			順調に進捗している。
									○順調
シティ・プロモーションの推進	20	作成		実施・周知・推進			プロモーションワークショップを開催し参加した市民へまちづくり事例を紹介したほか、ワークショップでは朝霞の暮らしの魅力をさぐった。市や関係機関の職員に対し研修を実施し、プロモーションの意識付けを行った。市内事業者等によるプロモーショングッズの販売を行うなど、連携し取り組んだ。	80%	
		20%	40%	60%	80%	100%			順調に進捗している。
									○順調

総括 (進捗状況・課題・今後の方針等)	SNSや動画サイトなどの活用に関しては、常にSNSなどの特性の把握に努め、より効果的な情報発信に向けた検討を引き続き行う。 市のブランドタグラインやキャラクター等を活用しながら、イベントや様々なメディアを通じ、市内外に向けて市の魅力を効果的に発信した。広報戦略に関する方針については、令和2年度中の策定に向けて検討委員会による検討を行った。	進捗率
	【数値指標等】	86.0%
	<ul style="list-style-type: none"> ・市外へのPR事業の実施件数 R1年度:19件 ・PRロゴ使用申請受理件数 R1年度:51件 ・キャラクターイラスト使用申請受理件数 R1年度:215件 	次年度以降の計画の見直し
		あり(別紙に記載)

【懇談会からの御意見等と対応】

【懇談会】

他市では、自分の市の見どころを案内する民間ガイドなどがあるが、朝霞市はあるのか。なければ、立ち上げの予定はあるか。

また、シティガイドに市内を案内させられないか。

【市】

現時点ではそのような仕組みはないが、オリンピック・パラリンピックの大会ボランティアの方々に、大会後も朝霞の魅力を広めてもらうような仕組み等を考えていきたい。

【懇談会】

キャラクターのイラスト使用件数について、徐々に増えているが、今後、使用件数からどんな分析をして、どのような対応を考えているのか。

【市】

庁内でかなり利用されるようになったので、民間企業等でも使用いただけるよう働きかけたい。

また、目標値について、庁内使用と民間使用に分けて効果を測ることも考えていきたい。

【懇談会】

朝霞ブランドについて、以前は朝霞の名前を冠したものだだったが、個人が生産しているものを市がバックアップするのはどうかという意見を踏まえて現状に変わったと思うが、ふるさと納税の返礼品など、朝霞の名前を冠したものなど、朝霞にしか無いものがあればより良いのではないか。

【市】

以前の朝霞ブランドに認定されていた商品等は、現在は商工会のあさかの逸品となっている。市の魅力として、市でも商工会と連携し情報発信等に努めていきたい。

【懇談会】

シェアサイクルの市内と市外の利用を分析し、情報を活用した方が良いのではないか。

【市】

事業者が得たデータは市側と共有することとしているので、分析についても依頼し、今後活用していきたい。

【懇談会】

災害時のヤフーとの協定では、新たにどのようなことが可能となったのか。

【市】

情報発信についての回答となるが、Yahoo!防災速報のアプリをダウンロードされた多くの方に対して、避難情報や、通行止め情報等を発信することが可能となり、災害等に活用されている。

【懇談会】

市のホームページにシェアサイクルの使い方についての案内がない。シティ・プロモーションのところにも使い方を乗せた方が良いのではないか。

【市】

本市のシェアサイクルポート密度が日本一になった際、トップページでPRしたほか、トップページ上に、シェアサイクルの利用方法についてのページを設けた。現在も掲載はされているが、今後もPR方法等を検討したい。

○意見・要望

・キャラクターのイラスト使用件数について、今後は、市内での使用は限られてくるので、市外にも拡大することも考えた方が良い。

・交通の利便性や、アクセスの良さについてアピールした方が良い。

・シェアサイクルは、市内の利用は多いが市外の人に利用してもらうためには散歩等の利用となるので、プロモーションができれば良い。

第5次朝霞市行政改革 実施計画 進捗確認シート

【令和元年度実績】

取組番号	6	取組名称	自主財源の確保
担当課	財政課、収納課、産業振興課、財産管理課、政策企画課		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市税等収納方法の多様化の検討 市税等の納付方法について、市民の利便性が図れる新たな納付方法等について検討する。 ・使用料・手数料の適正化の検討 住民負担の公平性の確保と受益者負担の原則に基づき、使用料及び手数料の適正化を検討する。 ・ふるさと納税の活性化 ポータルサイトの活用やクレジットカード決済を導入し、活性化に努めた。今後においても返礼品の充実などについて検討する。 ・新たな収入確保の検討 有料広告の活性化など、新たな収入を確保する方法について検討する。 ・減免規定の基本的な考え方の検討 他市の状況・水準等の調査を行い、減免規定の在り方について検討する。 		
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市税等収納方法の多様化の検討：納付方法の拡充を図り、納付者の利便性の向上が図られる。 ・使用料・手数料の適正化の検討：受益者負担の適正化が図られる。 ・ふるさと納税の活性化：ふるさと納税の件数が増加し、収入の確保が図られる。市のPRが図られる。 ・新たな収入確保の検討：新たな収入の確保が図られる。 ・減免規定の基本的な考え方の検討：受益者負担の適正化が図られる。 		
数値目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税件数 R2年度：240件(実績件数 H30年度：985件、H29年度：1,224件、H28年度：15件)、H27年度：11件 		

実施項目	ウェイト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度実績	
		計画・目標進捗率					実施内容	進捗
市税等収納方法の多様化の検討	20	検討	調査・研究	検討・準備	決定・運用		平成31年4月にクレジットカード収納に係る代理納付事務の実施に関して契約を締結し、令和元年度の新規課税分より運用を開始した。	100%
		20%	40%	60%	80%	100%	完了している。	☆完了
使用料・手数料の適正化の検討	20	調査	検討	方針策定	実施		使用料・手数料の見直しについて、10月の消費税引き上げに際して見直しは行わず、今後、公共施設の改修やサービスの変更等を行った場合に見直しを行うこととする方針を定め、庁内に通知し、市ホームページで公表した。	80%
		20%	40%	60%	80%	100%	順調に進捗している。	○順調
ふるさと納税の活性化	20	検討	実施				国からふるさと納税の取り扱いについての通知があり、返礼品としていたものができなくなるなど、見直しを余儀なくされた中、新たな返礼品の充実などに努め、約300件10,000,000円以上の寄附があった。	100%
		20%	40%	60%	80%	100%	完了している。	☆完了
新たな収入確保の検討	20		他市調査・検討・実施				現在、シティ・プロモーションの一環として無償としている本庁舎でのテレビ・映画撮影等のロケ使用について、近年、打診が増加傾向にあることから、撮影料の徴収について、先進市の事例等の情報収集及び撮影料を徴収した場合の試算を行った。	80%
		20%	40%	60%	80%	100%	順調に進捗している。	○順調
減免規定の基本的な考え方の検討	20	調査・研究	方針検討		実施		公共施設使用料の減額・免除制度の見直しについて、検討結果を取りまとめた。	100%
		20%	40%	60%	100%	完了している。	☆完了	

総括 (進捗状況・課題・今後の方針等)	・クレジットカード収納を令和元年5月より開始することができた。これにより、納付者の納付機会が拡充され、利便性の向上が図ることができた。今後も、納期内納付の促進に向け、納付しやすい環境づくりについて引き続き調査研究を行う。 ・使用料・手数料の適正化については、10月の消費税引き上げに際して見直しは行わず、今後、公共施設の改修やサービスの変更等を行った場合に見直しを行うこととする。 ・ふるさと納税の活性化：総務省の方針に従い、返礼品を見直した結果多くの返礼品の取扱いを中止したが、新たな返礼品の発掘に努めた。今後も返礼品の充実による収入の確保に努める。 【数値指標等】 ふるさと納税件数 R1年度：304件	進捗率
		92.0%
	次年度以降の計画の見直し	なし

【懇談会からの御意見等と対応】

【懇談会】

用途別のふるさと納税のパーセンテージは公表されているのか。それ次第で、市外の人が朝霞市に求めていることが分かるので良いのではないかと。

【市】

現在、市のホームページで目的別の寄附件数、金額を公表している。御意見いただいたパーセンテージについては、今後公表していきたい。

【懇談会】

公共施設を使用した撮影について、無料でも市の協力が大々的なPRになるので、可能な範囲で進めた方が良いのではないかと。

【市】

公共施設をロケ地として提供することによるPR効果については、見えづらいものであるため、PR効果をより高める方法(市のPRに繋がるような撮影条件を設定する等)を検討するとともに、撮影自体は行政財産である公共施設の本来の使用目的ではないことから、公園での撮影や撮影以外の行政財産目的外使用に対する取扱いと同様に、撮影者に対し、一定の負担を求めることについても調査研究していきたい。

【懇談会】

生産緑地について、耕作していない土地が多数見受けられる。しっかり確認して、耕作していない所には納税のお願いをして、歳入を確保すべきではないかと。

【市】

生産緑地地区の地権者は生産緑地法に基づき農地等として適正に管理する義務がある。個別の農地の営農状況や課税については関係部局と連携を図りながら、今後も適正な生産緑地制度の運用を図っていきたい。

第5次朝霞市行政改革 実施計画 進捗確認シート

【令和元年度実績】

取組番号	7	取組名称	ファシリティ・マネジメントの推進
担当課	政策企画課、財産管理課		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設修繕及び長寿命化計画の策定 公共施設の修繕や更新など今後のあり方について策定した「公共施設等総合管理計画」を着実に実施していくため、公共施設の修繕及び長寿命化等に関する個別具体的な内容の計画として「個別施設計画」を策定する。 ・公共施設の安全・良質な状態の保持～ライフサイクルコストの軽減と財政負担の平準化～ 今後も公共施設を持続可能なものとするため、点検と修繕に係る新たな仕組みを導入するほか、効率よくコストを縮減する手法を導入するなど、新たな取組を進める。 ・公共資産の有効活用 低未利用の資産を有効に活用するため、連携や協働を含めた検討を進める。 		
効果	公共施設へのニーズに対して、必要なものを必要なだけ供給することができ、それが長期間にわたって持続可能なものとなる。		
数値目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリティマネジメントによる収入増、支出減の合計額 R2年度:100,000千円/年 (H30年度:100,740千円/年、H29年度:77,917千円/年、H28年度:84,558千円/年、H27年度:72,817千円/年) 		

実施項目	ウェイト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度実績		
		計画・目標進捗率					実施内容	進捗	
個別施設計画の策定	25	策定						個別施設計画「(仮称)あさかFMアクションプラン」については、検討委員会へ意見を求めた。令和元年度より、コンサルを活用しながら、各施設の現状についてまとめた「施設カルテ」の作成や市民アンケートを行った。	85%
		50%	60%	70%	85%	100%		順調に進捗している。	○順調
施設の定期的な点検と修繕の新たな仕組みの導入	25	検討・試行						引き続き建物維持管理マニュアルに基づく施設点検を実施し、点検結果を集約し、修繕の緊急度のランク付けを行い、予算査定に活用する取組を行った。	80%
		20%	40%	60%	80%	100%		順調に進捗している。	○順調
効率よくコスト縮減できる新手法の導入と深化	25	検討						新たに保育園・放課後児童クラブの電力供給を一括化して新電力と契約し、約236万円/年の電気料金の削減に繋がった。	80%
		20%	40%	60%	80%	100%		順調に進捗している。	○順調
公共資産の有効活用の検討	25	検討						旧憩いの湯について、引き続き今後の活用についての検討を行うとともに、工事用資材置き場等としての一時貸付を積極的に行うことで、収入の確保に繋がった。	80%
		20%	40%	60%	80%	100%		順調に進捗している。	○順調

総括 (進捗状況・課題・今後の方針等)	個別施設計画の策定では、令和元年度より、コンサルを活用しながら各施設の現状についてまとめた「施設カルテ」の作成やアンケートを実施した。今後、それぞれの所管課で策定している道路、橋梁、上下水道などのインフラ系の計画や、学校施設長寿命化計画を踏まえながら全体の計画案をまとめていく。	進捗率
	今後も、厳しい財政状況を踏まえ、コスト縮減策を着実に実行していくことが重要であり、現在進めている取組をさらに拡大・深化させていく。	81.3%
	【数値指標等】 ファシリティマネジメントによる収入増、支出減の合計額 R1年度:113,835千円/年	次年度以降の計画の見直し
		なし

【懇談会からの御意見等と対応】

【懇談会】

公共資産の有効活用の検討について、旧憩いの湯跡地と254バイパスの現状はどうなっているか。

【市】

国道254号和光富士見バイパスは、埼玉県において整備が進められており、令和2年3月末時点の朝霞市内の整備状況は、朝霞調整池朝霞大橋付近から県道朝霞蕨線までの区間の4車線化を行い供用開始した。

県道朝霞蕨線から志木市に向かう区間については、現在、JR武蔵野線との交差方法について協議を行っているところであり、整備時期については未定である。

今後は、現在工事中である国道463号(浦和所沢バイパス)との立体交差工事を進め、当該部分から志木市内に向けて用地取得や道路築造工事などを順次行う予定である。

【懇談会】

旧憩いの湯跡地については、254バイパスの整備が終わる前から検討を始めた方が良いのではないか。

【市】

検討を始める時期については、所管課と調整する。

【懇談会】

浸水想定区域への建築制限については、都市計画法の改正と建築基準法をにらんで情報を吸い上げた方が良いのではないか。

【市】

法改正の内容や施行時期など、情報を共有していきたい。

第5次朝霞市行政改革 実施計画 進捗確認シート

【令和元年度実績】

取組番号	8	取組名称	市単独の支援制度の見直し
担当課	政策企画課		
取組内容	<p>市単独の支援制度の必要性や適正水準について検討し、継続的に見直しを行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市単独の支援制度の見直し <p>各事業の取組優先順位、市の課題、他市の状況や市民ニーズ等を踏まえ、市単独の支援制度の必要性や適正水準を検討し、受益者負担の適正化を図る。</p> <p>市民サービスに直結するため、理解が得られるよう、広く周知し、説明に努める。</p>		
効果	市単独支援制度の必要性や適正水準を見直し、他市との均衡を考慮することにより、新たな市民ニーズに的確に応じていくとともに、行財政の安定的な運用が図られる。		
数値目標等	<ul style="list-style-type: none"> 各部における継続的な見直しの推進 		

実施項目	ウェイト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度実績	
		計画・目標進捗率					実施内容	進捗
市単独支援制度全般についての情報収集	40						市単独支援制度全般について、市民ニーズ、社会情勢、他市の動向等の情報を収集した。	80%
		他市調査・ニーズ把握						
		20%	40%	60%	80%	100%	順調に進捗している。	○順調
市単独支援制度全般についての見直し	60						過去に見直しを行った事業も含め、市単独支援制度に係る事業について、他市の状況やこれまでの実績等を踏まえ、各所管において次年度に向けた事業の見直しや予算要求を行った。	80%
		検討・実施						
		20%	40%	60%	80%	100%	順調に進捗している。	○順調

総括 (進捗状況・課題・今後の方針等)	過去に縮減や休止などの見直しを行った事業も含め、市単独支援制度に係る事業について、社会情勢や他市の動向、市民ニーズ等を把握し、各所管において次年度に向けた意向を反映した予算要求を行った。	進捗率
	今後も引き続き市単独の支援制度の必要性や適正水準について検討し、事業の見直し等を行っていく。	80.0%
		次年度以降の計画の見直し
		なし

【懇談会からの御意見等と対応】

【懇談会】

他市の情報収集でより良い事例はあったのか。

【市】

各課において情報収集の上、良い事例等を参考にしながら予算要求している。

【懇談会】

令和元年度の単独補助事業の主なものには何があるか。

【市】

個人宅のリフォームで市内業者を利用した場合の補助や70歳以上の高齢者に対する交通系ICカードの交付などが挙げられる。

第5次朝霞市行政改革 実施計画 進捗確認シート

【令和元年度実績】

取組番号	9	取組名称	組織機構の見直しと定員の適正化
担当課	政策企画課		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・組織機構の見直し 第5次朝霞市総合計画前期基本計画、県からの権限移譲等に加えて、国の施策、法令による義務付け・枠付けの見直しを考慮した組織機構の見直しを行う。 ・定員の適正化 変化する社会状況にも対応するため、職員定数の状況及び適正な人員配置について検証し、見直しを行う。また、併せて、仕事の量を含めて状況を客観的に判断する方法を研究していく。 		
効果	機能的な組織体制の整備と限られた人員の効率的な配置により、多様化・専門化する行政課題に迅速かつ的確に対応できるようになる。		
数値目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・組織機構の見直しと定員の適正化(人員定数 H29年度:632人) ・定員管理方針の策定 H28～29年度:策定 		

実施項目	ウェイト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度実績	
		計画・目標進捗率					実施内容	進捗
組織機構及び職員定数の検証(情報収集・課題整理)	20	検証					多様化する行政需要に対応し、また市民に分かりやすい組織となっているかなどの観点から検証を行った。	80%
		20%	40%	60%	80%	100%	順調に進捗している。	○順調
定員適正化方針の見直し	40	見直し					平成28年度に行った現状分析や他市の状況等の調査・研究を基に見直しを行い、「朝霞市定員管理方針(平成29年4月1日～平成33年4月1日)」を策定し、職員数の上限は652人とした。	100%
		50%	100%	100%	100%	100%	完了している。	☆完了
定員の適正な管理	20	検討・実施					各課の現状や増員の要望等を把握するために、人員体制の現状と課題について照会とヒアリングを行い、次年度の配置数を決定した。	75%
		—	25%	50%	75%	100%	順調に進捗している。	○順調
機能的な組織機構の見直し	20	検討・実施					多様化する行政需要を踏まえた組織機構について検討を行うとともに、現在策定中の第5次総合計画後期基本計画において組織機構の見直しを要するものがあるか併せて検討を行った。	75%
		—	25%	50%	75%	100%	順調に進捗している。	○順調

総括 (進捗状況・課題・今後の方針等)	<ul style="list-style-type: none"> ・組織機構の見直し 多様化する行政需要に対応できるよう、また、市民に分かりやすい組織となるよう、今後も引き続き、組織機構の見直しを検討していく。 今年度中の策定完了を目途に進めている第5次総合計画後期基本計画を踏まえて、新たに組織機構改革が必要かの検討を引き続き進めていく。 ・定員の適正化 朝霞市職員定員管理方針が、令和3年4月1日で終期を迎えることから、現行方針の検証と次期方針策定に向けた検討を予定している。 【数値指標等】	進捗率
	・定員管理方針の策定 H29年度:策定完了	86.0%
		次年度以降の計画の見直し
		なし

【懇談会からの御意見等と対応】

【懇談会】

育児に関する短時間勤務の職員はいるか。いないとすると、定時出勤、定時退勤が約束されているのか。

【市】

育児に関する短時間勤務の平成30年度の実績は、育児短時間勤務が0人、部分休業が20人となっている。時間外勤務については、業務の必要性に応じて命ずるものですが、職員の家庭状況等に配慮しながら実施していきたい。

【懇談会】

組織機構について、新型コロナウイルスによる影響を受けての見直しは検討しているか。

【市】

組織機構や人員体制の検証は、毎年的人员ヒアリングなどの際に行っている。直近の機構改革は、平成30年のシティ・プロモーション課の設置や福祉相談課の設置である。今回、新型コロナウイルスの影響もあったが、今後は、感染症などの突発的な事案が起こった場合への対応や、働き方改革も含めて国でデジタル化を推進する流れもあるので、現時点で、具体的なビジョンはないが、そういったことを念頭に検討していきたい。

【懇談会】

地方分権改革に関連して、国の法令等による義務付け・枠付けの見直しで、機構改革が必要となったようなものはあるか。

【市】

機構改革を要するような見直しはなかったと把握している。本市でも、現状の組織機構における各課の所管事務の範囲内で対応可能な状況である。

【懇談会】

特に北朝霞駅の周辺など、歩道や道路などに危険な箇所が多くあるように感じる。そのような危険箇所を、所管課ではない職員であっても通報するなど、職員全体でチェックする仕組みが必要ではないか。

【市】

他部署の職員が業務中に市内を回る際、道路における危険箇所に留意するよう、庁内メール等を活用し、そのような箇所を発見した際には連絡を入れるような体制作りを検討したい。

第5次朝霞市行政改革 実施計画 進捗確認シート

【令和元年度実績】

取組番号	10	取組名称	職員の資質向上
担当課	職員課、政策企画課		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の充実 職員の能力開発を効果的に進めるため、職員のニーズを把握した上で、研修内容の点検・見直しを行い、研修レベルの向上や多様な研修機会の提供を図る。 職員提案制度の改善 職員が研修、社会経験等から得た知識を応用し、職員が自発的に事務事業を提案できるように設けられている職員提案制度について、職員がより意欲的に提案でき、市民ニーズの多様化に応える事業がより多く実現するよう、職員提案制度の更なる改善に取り組む。 		
効果	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の充実 庁内で実施する研修を職員のニーズや時代に即した内容に改めるとともに、職員を積極的に派遣研修に参加させ、より専門的な知識・技術を習得させることで、職員の業務遂行能力の向上につながる。 職員提案制度の改善 職員提案制度の改善により、普段の業務を通して課題を認識し、常に改善の意識を持って通常業務に取り組む職員が増える。結果として、多様化する市民ニーズに対応した施策の展開につながる。 		
数値目標等	<ul style="list-style-type: none"> 自治大学校や埼玉県実務派遣研修等、専門性が高い又は実務に関する研修への参加者数 R2年度:52人(H30年度:56人、H29年度:53人、H28年度:53人、H27年度:38人) 職員提案の提案件数 R2年度:30件(H30年度:27件、H29年度:28件、H28年度:25件、H27年度:15件) 		

実施項目	ウェイト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度実績	
		計画・目標進捗率					実施内容	進捗
職員研修に関する情報収集、職員アンケートの実施	10		調査・研究				職員研修に関する情報収集を行うとともに、職員研修の課題や研修ニーズを把握するため、平成29年7月に職員研修に関するアンケートを実施した。集計結果については、職員研修の点検・見直しに関する資料として活用するとともに、職員の研修参加の契機とするため、各所属へ周知した。	100%
		20%	100%	100%	100%	100%	完了している。	☆完了
職員研修の点検・見直し	40			検討・実施			階層別研修について、主任級研修の庁内での実施日数を2日に増やし、併せて科目の見直しを行った。派遣研修について、都市建設部門の職員の専門性を高めるため、国土交通大学校への派遣を開始した。自己啓発研修について、補助金上限額の増額を行った。(3万円→5万円) ※平成29年度:新規採用職員研修見直し 平成30年度:主任級研修見直し 令和元年度:国土交通大学校等の派遣者増	100%
		—	30%	60%	100%	100%	完了している。	☆完了
職員提案制度の改善	50		研究・検討		改善		令和元年度の職員提案の提案件数は22件であった。職員の自発的な提案を促進するため、市における課題を提案テーマに設定するとともに、募集時期が年度始めの繁忙期に重なることを考慮して二次募集を行った。さらに、制度の効果的な実施及び職員の意欲向上のため、実施検討依頼に対する回答様式の改善や、過去の提案の実施状況の調査を行った。 また、職員提案の一環として、令和元年度も政策研究チームを設置し、課題に対し研究した結果を提言としてまとめた。	80%
		20%	40%	60%	80%	100%	順調に進捗している。	○順調

総括 (進捗状況・課題・今後の方針等)	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の充実 職員研修に関する情報収集やアンケートの結果等を参考に、平成30年度から新たに国土交通大学校への派遣を開始した。令和元年度には、国土交通大学校・市町村アカデミーへの派遣者を増加させるなど、実施項目について目標どおりに進めることができた。今後も引き続き、研修の点検・見直しを進めるとともに、派遣研修や自己啓発研修の充実に取り組む。 職員提案制度の改善 令和2年度も引き続き職員の意欲向上や提案数の増加を目指し、募集段階での呼びかけの工夫や、事業の実現までの過程について改善を重ね、制度のより効果的な実施に取り組む。 	進捗率
	【数値指標等】 研修参加者数 R1年度実績:62人 職員提案の提案件数 R1年度実績:22件	90.0%
		次年度以降の計画の見直し
		なし

【懇談会からの御意見等と対応】

【懇談会】

他部署の研修報告も見る事ができるなど、職員間で共有できるといいのではないかと思います。

【市】

職員課が所管する研修については、前年度の実績(研修名、期間、受講者等)を全庁に周知している。今後も、研修に関する情報の共有を図っていきたい。

【懇談会】

土木や建築などの有資格者や、専門の研修を受けた職員は、その担当部署に長めに在籍させて、能力を発揮してもらおうほうがいいと思う。

【市】

専門職として採用した職員や、長期間に渡る専門研修を受講した職員については、今後も、能力や経験を活かせるよう配置を行っていきたい。

【別紙】第5次朝霞市行政改革実施計画 見直しシート

取組番号 5	戦略的な情報発信……………	25
--------	---------------	----

【別紙】第5次朝霞市行政改革 実施計画 見直しシート

取組番号	5	取組名称	戦略的な情報発信
担当課	シティ・プロモーション課		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSや動画サイトなどの効果的な活用の推進 情報拡散手段として活用されているSNS(ソーシャル ネットワーキング サービス)等のそれぞれの特徴を生かした、より効果的な情報発信の方法を検討する。 ・市の魅力の発信方法の検討 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、これらを契機とした戦略的な市の魅力の発信方法について検討する。 		
効果	朝霞市の魅力を広くPRするシティ・プロモーションを展開することで、市民の市政への関心や理解が深まる。また、県内外における朝霞市の認知度の向上も図られる。		
数値目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・広報戦略に関する方針の策定 R2年度:完了 ・市外へのPR事業の実施件数 R2年度:2件(H30年度:19件、H29年度:13件、H27年度:未整備) ・PRロゴ使用申請受理件数 R2年度:25件(H30年度:47件、H29年度:14件、H27年度:検討・実施) ・キャラクターイラスト使用申請受理件数 R2年度:45件(H30年度:127件、H29年度:33件、H27年度:未実施) 		

実施項目	ウェイト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	備考(見直し内容等)
		計画・目標進捗率					
全庁的なSNSの導入	30	調査・研究		実施			【変更なし】
		20%	40%	60%	80%	100%	
広報戦略に関する方針の策定	30	調査・研究					既存のプロモーション戦略に関する方針「朝霞市シティ・プロモーション取組基本方針」について、この取組の基軸としているオリンピック・パラリンピック大会が終了する時期に合わせて新たな方針を策定することとし「シティ・セールス朝霞ブランド検討委員会」を開催するなど、方針の内容について検討を進めていたが、新型コロナウイルスの影響によりオリンピック・パラリンピック大会が延期されたことや、社会情勢の変化等を踏まえ、改めて調査・研究の上で方針を策定する必要があるとして、調査・研究期間を延長し、策定期間を令和3年度に変更した。
		50%	50%	70%	85%	90%	
市外へのPR事業の実施	20	検討・実施					【変更なし】
		20%	40%	60%	80%	100%	
シティ・プロモーションの推進	20	作成	実施・周知・推進				【変更なし】
		20%	40%	60%	80%	100%	

特記事項	
------	--

朝霞市行政改革懇談会開催状況

	開催日時・場所	議題
1	令和2年8月17日(月) 午前10時 朝霞市役所 別館5階 大会議室(奥)	(1) 委嘱式 (2) 会長・副会長の選出について (3) 第5次朝霞市行政改革の進捗状況 (令和元年度実績)について (取組項目No.1～No.4)
2	令和2年8月20日(木) 午前10時 朝霞市役所 別館2階 全員協議会室	(1) 第5次朝霞市行政改革の進捗状況 (令和元年度実績)について (取組項目No.5～No.10) (2) その他

朝霞市行政改革懇談会委員名簿(各選出区分の中で50音順)

選出枠	氏名	所属	備考
1号 知識経験を有する者	池田 邦臣	元) 朝霞市職員	
	篠崎 孝夫	元) 朝霞地区福社会 事務局長	
	武田 知己	大東文化大学 法学部教授	会長
	宮澤 謙介	公益財団法人 埼玉りそな産業経済振興財団 主席研究員	
2号 市が関係する団体から推薦された者	加藤 大志	朝霞青年会議所 理事	
	鈴木 龍久	朝霞市商工会 専務理事	副会長
	松尾 哲	朝霞市自治会連合会 会長	
3号 公募による市民又は公募委員候補者名簿に登載された市民	岡田 一成	公募市民(公募)	
	西村 嘉高	公募市民(名簿登載)	
	堀之内 貴恵	公募市民(名簿登載)	

注：選出枠ごとに50音順に掲載

任期：令和2年8月17日から令和4年3月31日まで

第5次朝霞市行政改革実施計画進捗状況報告（令和元年度実績）
（令和2年8月発行）

発行 朝霞市
編集 政策企画課
〒351-8501
埼玉県朝霞市本町 1-1-1
電話 048-463-1111(代表)
URL <http://www.city.asaka.lg.jp/>